

2021 年度 研修分科会開催案内

第 5 回
発行 2021 年 10 月 4 日

第 5 回 開催日時 2021 年 11 月 5 日 (金) 13:00-17:00
オンライン開催 (Zoom ミーティング)

第 5 回テーマ 情報サービス：レファレンスと ILL

これまで電子書籍、機関リポジトリ等で大学図書館が情報を提供・管理する側面をテーマに業務を見つめてきました。第 5 回では利用者の立場から情報サービスについて考えたいと思います。図書館業務のスキルは、「読み・書き」の両面からアプローチが必要です。情報管理に必要なメタデータ作成の「書く」技術の裏に、それが利用者にどう使われるか想像できることがベースにあり、一方レファレンスや ILL での確に情報サービスができるようになる「読む」技術を鍛えるには、データがどこから来て、どのように作成されているか知っておくことが役に立ちます。Google と Wikipedia で欲しい情報が簡単に手に入る世の中で、質問に来た利用者に満足いく回答ができるようになるには、常に最新の情報サービスのツールを使いこなせるようになるのが理想ですね。また、利用者が求める資料(資源)を入手するまでが情報サービスですので、レファレンスと ILL やレフェラルサービスについて、考える機会にしたいと思います。

Time table

13:00-13:10	今回のテーマについて
13:10-14:45	講演：情報サービス：レファレンスと ILL 林賢紀氏
14:45-15:00	休憩
15:00-16:50	課題まとめ解説と実習
16:50-17:00	次回予告

講演 情報サービス：レファレンスと ILL 国際農林水産業研究センター 林 賢紀氏

データを使う方法を学ぶには、作る方法にも詳しい方にお話いただくのが良いと考え、林さんにご講義をお願いしました。林さんは、情報高度利用専門職として実務をこなす傍ら、専門図書館協議会調査分析委員会や、これからの学術情報システム構築検討委員会システム・ワークフロー検討作業部会の委員、Code4Lib JAPAN のコアメンバーをされ、最新の情報サービス技術を伝授していただきます。

課題 データベースを使ってみる

各自の大学で導入している有料データベースを調べ、よく使われる 3 つを実際に検索してみて、その紹介文と取説(検索上の注意点等)をまとめてください。可能であれば収録されている(メタ)データがどこから来ているか、どのように作成されているかも考えて記入してください。導入している有料データベースが少ない場合は、3 つの中に CiNii Articles を加えてもかまいません。下記の Google フォームに記入してください。(同じ図書館から参加されてる方は、別の DB を取り上げてください。)締め切りは開催 1 週間前(10/29)とします。提出後に回答の編集を「許可」の設定にしてありますので、10/29 までは書き換えできます。

<https://forms.gle/FSLM16GTaVeuzK8w9>

紹介文はプロバイダーが提供している文そのままではなく、書店のポップ的に、簡潔にまとめてください。(長い説明は利用者に読み飛ばされます。)取説には、どのような情報が得られるか(また得られないか)が分かるよう、収録内容・範囲を必ず記入してください。